

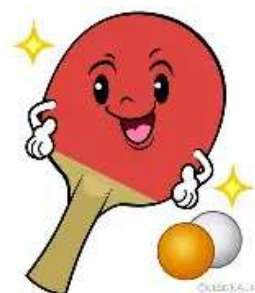
パラ卓球

ワールドパラエリート

ブラジル サンパウロ大会

(2025年10月3日)

佐藤泰巳選手
ベスト8進出！



佐藤選手 ベスト8

17:33

Para Elite Sao Paulo
Sao Paulo - 3 to 7 October

MAIN DRAW

Quarterfinals

Sat 4, 16:30, T5	
BOUVAIS Thomas	3
SATO Hiromi	2
Sat 4, 16:30, T6	
GUARNIERI Luiz Filipe	2
DIAZ Alejandro	3
Sat 4, 16:30, T7	
GRUDZIEN Piotr	3
SABIO RUIZ Ricard	2
Sat 4, 16:30, T8	
DE SOUZA MASHKI Jean Carlos	0
ZOHL Borna	3

TBD: To be defined or not assigned yet.

results.ittf.com



写真右端が佐藤選手

卓球豆知識！

ブラジル卓球の歴史と発展 / 日系移住者の関係

世界卓球 2025 で大活躍のカルデラノ選手の出身国、ブラジルは、南米最大の国として多様な文化と民族が共存する中で、卓球という競技も独自の進化を遂げてきました。

特に注目すべきは、**日系移住者**が果たしてきた役割です。彼らは戦後、スポーツを通じた地域社会づくりに貢献し、卓球の普及と強化に大きな影響を与えました。

本記事では、ブラジルの卓球の導入から発展の歴史、日系選手の活躍、そして現在までの様子を紹介します。ブラジルの卓球競技は、20 世紀初頭にその端緒を見ることができます。

イギリス人観光客が **1905 年頃にブラジルで卓球を紹介** したのが始まりとされ、**1912 年** にはサンパウロで初の卓球大会（団体戦）が開催されました。

以降、徐々に発展を続け、第二次世界大戦中の **1942 年** にブラジル国内で卓球ルールの翻訳・統一が図られ、全国的な競技として公式に認知されます。

戦後の **1947 年** にはブラジル代表が第 3 回南米選手権に初参加し、国際舞台への一步を踏み出しました。その後も交流を重ね、**1979 年** にはリオデジャネイロでブラジル卓球連盟（CBTM）が設立され、卓球は独立した競技団体の下で全国的な普及と強化が進められることとなります。

パラ卓球でもブラジルは着実な成果を上げてきました。

リオ 2016 パラリンピックでは女子クラス 10 でブルーナ・アレクサンドレが銅メダル、女子クラス 6-10（混合チーム）ではアレクサンドレとダニエレ・ラウエンのペアが銅メダルを獲得するなど計 4 個のメダルを獲得しました。

続く東京 2020 パラリンピックではブルーナ・アレクサンドレが女子シングルス・クラス 10 で銀メダルを獲得し、同時に 2024 年パリ五輪にも初のパラ／五輪両出場を果たしただけでなく、女子シングルス・クラス 10 で銅メダルを獲得しました。（ホームページ引用）